

## 第7期町田市介護保険事業計画 骨子(案)

(基本理念) 高齢者の尊厳が守られ、人生の豊かさが実感できるまち～地域で支えあい健やかで自分らしさを感じられるまちの実現～

第6期計画の基本施策体系と進捗状況		国等からの方針・法改正等	第7期介護保険事業計画の体系
1 暮らしている 安心して 地域で	1 地域ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案</li> <li>・自立支援、介護予防、重度化防止の推進</li> <li>・地域包括支援センターの機能強化(市町村による評価の義務付け等)</li> <li>・地域福祉計画策定の努力義務化、及び上位計画としての位置づけ</li> <li>・2割負担者のうち特に所得の高い層の負担割合を3割に</li> </ul>	1 地域ネットワークの充実
	2 社会参加の推進と介護予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護保険制度の見直しに関する意見(社会保障審議会介護保険部会 2016.12.09)</li> <li>・地域包括ケアシステムの深化・推進のための適切な指標による実績評価</li> <li>・地域包括支援センターの強化(地域ケア会議の業務の具体化・明確化)</li> <li>・認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進</li> <li>・中重度者の在宅生活を支えるサービス機能の強化</li> <li>・入退院時等における医療・介護連携の更なる充実</li> <li>・介護人材の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【重点になり得る取り組み】</li> <li>○高齢者支援センターの機能強化</li> <li>・高齢者支援センターの事業評価の充実</li> <li>・地域ケア会議の役割の明確化及び内容の充実</li> </ul>
	3 医療と介護の連携による自立生活の支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」(2016.12.26改正)</li> <li>・医療・介護連携の推進(利用者の視点に立った切れ目ない医療・介護の提供体制の確保)</li> <li>・認知症施策の推進(地域ごとの、状態に応じた適切なサービスの提供)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【その他の主な取り組み】見守り支援ネットワーク 等</li> </ul>
2 が住み慣れた 地域での 生活	4 統合的な認知症ケアの体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」構成案</li> <li>・高齢者虐待の防止(家族支援)</li> <li>・地域ケア会議における課題の検討</li> <li>・人材確保及び資質の向上</li> </ul>	2 地域の支え合いと介護予防の推進
	5 在宅を支える介護保険サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ニッポン一億総活躍プラン」(2016.06.02閣議決定)</li> <li>・「介護離職ゼロ」に向けた「安心につながる社会保障」(介護人材確保のための総合的な対策)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【重点になり得る取り組み】</li> <li>○「介護予防・日常生活支援総合事業」の充実</li> <li>・地域資源と連携した介護予防・生活支援サービスの創出</li> <li>・自立支援・重度化防止に向けた取り組みの実施</li> </ul>
	6 自分にあつた住まいや施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査等の分析結果</li> <li>○地域ネットワークの充実</li> <li>・市民ニーズ調査では、地域包括ケアシステムの実現のために特に重要なキーワードとして、「高齢者支援センター」が1位または上位。</li> <li>・高齢者支援センターが行きやすいと感じている人(「行きやすい」「どちらかという行きやすい」)は、一般高齢者で25.4%、要支援1・2で42.1%、要介護1～5で38.2%、特養待機者で45.3%。</li> <li>・事業所調査では、地域包括ケア推進に向け強化すべき取り組みとして、34.5%の事業所が「地域ケア会議で挙げられた課題の共有」を選択。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【その他の主な取り組み】身近な地域の通いの場の充実</li> </ul>
3 を適切に 利用して 介護 サービス	6 自分にあつた住まいや施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会参加の推進と介護予防</li> <li>・国が示した「介護予防・日常圏ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、一般高齢者と要支援1・2の高齢者について、7種のリスクに関する判定を実施した結果、一般高齢者では、「認知機能の低下」(38.8%)、「転倒リスク」(26.1%)、「口腔機能の低下」(17.6%)などが高く、7種いずれのリスクにも該当しない人は32.6%。</li> <li>・市民ニーズ調査によると、友人・知人と会う頻度が高い人ほど主観的幸福度は高い傾向。</li> </ul>	3 状態に応じた切れ目ない在宅医療・介護サービスの仕組みづくり
	7 介護サービスの質の向上と適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療と介護の連携による自立生活の支援の推進</li> <li>・要支援および要介護高齢者では、2割前後が訪問診療(訪問看護を含む)を利用。一方、長期の治療、療養が必要になった場合の在宅医療については、「希望するが実現は難しいと思う」との回答が、全対象者の45%前後。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【重点になり得る取り組み】</li> <li>○在宅医療・介護連携の推進</li> <li>・町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの推進</li> </ul>
	8 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統合的な認知症ケアの体制づくり</li> <li>・もの忘れの多さに不安を感じたとき、「何もしない」と答えた方が、一般高齢者で10.1%、要介護1～5で19.6%となっており、前回調査時と比較して全対象者について減少傾向。</li> <li>・この1年間で認知症症状のため「受け入れできなかったケースがある」という事業所が全体の8.3%あり、前回調査結果13.3%と比較して減少傾向。しかし、サービス種別に見ると、入所系サービスでは33.3%が「受け入れできなかったケースがある」と回答。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【その他の主な取り組み】医療・介護連携の推進のための基盤整備</li> </ul>
3 よりよく 利用して 介護 サービス	8 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	4 認知症の人にやさしい地域づくりの推進
	9 介護人材の育成・確保・定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分にあつた住まいや施設の利用</li> <li>・特養待機者申込のうち約3割は、施設から入所通知が来たとしても、「すぐには決められない」または「お断わりする」と回答。</li> <li>・事業所調査では、全体の40.3%、入所系サービス事業所の66.7%が、特養は「充足している」と回答。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【重点になり得る取り組み】</li> <li>○認知症の人やその家族の視点を重視した取り組みの推進</li> <li>・認知症カフェ(Dカフェ)の開催 等</li> <li>○認知症早期対応・受診の支援の充実</li> <li>・認知症初期集中支援チームによる相談対応 等</li> </ul>
	10 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その他</li> <li>・市民ニーズ調査によると、在宅医療について不安を感じることは、「家族の負担(肉体的・精神的)」が全対象者について6割前後で最も高く、家族介護の負担への不安が多い傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【その他の主な取り組み】町田市認知症施策推進協議会を中心とした認知症施策の推進 等</li> </ul>
3 よりよく 利用して 介護 サービス	9 介護人材の育成・確保・定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	5 在宅高齢者とその家族への支援の推進
	10 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【主な取り組み】</li> <li>家族介護者の介護方法や各種制度などについての学習機会、家族介護者同士の交流機会の提供 等</li> </ul>
	11 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	6 介護サービスの基盤整備
3 よりよく 利用して 介護 サービス	11 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	7 介護サービスの質の向上と適正化
	12 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【重点になり得る取り組み】</li> <li>○介護人材の育成・確保・定着</li> <li>・介護人材開発の推進</li> <li>・元気高齢者(アクティブシニア)の活躍推進</li> </ul>
	13 特別養護老人ホームの計画通り増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅を支える介護保険サービスの充実</li> <li>・高齢者の3割から5割程度が、(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向あり。また、事業者調査では、市におけるこれらサービスについて、不足感を感じている事業者が多い傾向。</li> <li>・町田市介護人材開発センターを「知っていて、研修に参加したことがある」事業所は全体の71.4%で、前回調査結果66.7%と比較して上昇傾向。一方、職員確保状況について、常時またはほぼ確保できている事業所の割合は43.2%で、前回調査結果56.2%と比較して厳しい結果に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【その他の主な取り組み】要介護度改善ケアの推奨、ケアプラン点検事業 等</li> </ul>